

一次評価一覧

システム運用状況に対する評価

(1)温室効果ガス排出量エネルギー使用量

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也	温室効果ガス排出量が、前年度比7.2%もの増加は、コロナ禍でやむを得ない事情があったとはいえ、評価を下げる要因となる。	3
奥 真美	2021年度は特殊な事情により前年度比で増加したことは理解したが、結果的に2021年度の2015年比6%削減という目標値は未達となってしまっている。参考までに2016年度から2021年度までの平均削減率を確認したい。そのうえで、平均値もマイナス6%に達していないのであれば、どこに問題があったのか(目標値設定、取組み内容、不可抗力的な要素など)を分析し、その結果を踏まえて次期行動計画における目標値等を検討する必要がある。	3
斉藤 崇	温室効果ガスに関して、前年度と比べて増えてしまっているのはやむを得ないと思うが、2019年度と比較しても微増している。今後、排出削減をさらに進めていかなければならないことを考慮すると、削減に向けた取り組みを強化する必要があると考えられる。	3
森 美宣		4
屋 昌宏		3
斎藤 之良		3
土肥 興治	<p>・出入り業者が市の管理内で使用した電気消費量は温室効果ガス・エネルギー消費の内数にカウントされていると思うが、建築などの出入り業者の使用するICE(内燃機関)による温室効果ガス・エネルギー消費は数えられているか?統一しないとApple-to-apple(同等・平等な比較)にならない。まじめにやるならば発注先のエミッションも感情にれるべきだとは思(産業機器も最近はずいぶんハイブリッド化、高効率化が進んでいる。)</p> <p>・「エコ運転を心がけるよう教育」ではなく、構造的な方策をお願いしたい例えば既存ICE車両をEVやe-PowerやFCVなどの高効率車両に切り替える計画を立てて実施するとか、短距離用途車をEVへのコンバージョン(乗せ換え)を行うなど。そんな金がなくて、でも何とかしたいならば、せめて、車の使用頻度を落とす体質に変えるなどしてほしい。例えば、課ごとに車の年間計画を出させて、購入可能なガソリン、または行動可能な距離数で管理し、超えた場合は環境課から厳しいをフォローなど、何かお仕置きする。そのかわり、電動自転車、原付(できれば雨天用に屋根付き。できれば電動。)、一人乗り小型特殊コミュータ(できれば電動)などローエミッションを用意する、などできないでしょうか。</p>	3
齋藤 菜帆		4
山本 麻衣子		4

平均点 3.3

最高点 4

最低点 3

システム運用状況に対する評価
(2)資源(廃棄物)

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也	廃棄物排出量が2015年度比で19.0%もの増加, 前年度比8.8%もの増加は, コロナ禍でやむを得ない事情があったとはいえ, 評価を下げる要因となる。	2
奥 真美		1
斉藤 崇	再利用率については, 前年より改善が見られるものの, 排出量は増加傾向にある。実績報告書では, 主な増加要因2つ(市民病院, 落ち葉雑草)について説明があるが, それを除いても増えていることを考えると, 全体として削減に向けた取り組みを強化する余地があるように見受けられる。	2
森 美宣	コロナ禍の影響によって市民病院における感染症廃棄物や病棟再編成等による粗大ごみの増加(102t)は理解できます。但し、町田中央公園における「落ち葉・雑草」の排出量の増に関して、電線に架かりそうな枝の剪定を行うことは、事故や停電等の障害を取り除くために管理者である町田市が定期的実施するものであるため、利用者から要望が増える前に適正な管理計画について訴求してはどうかと考えます。	1
屋 昌宏		3
斎藤 之良	廃棄物の実績についてはほぼ増加基調にある。コロナなど特異的に増加してしまった要因以外にも潜在的な要因がないか精査してほしい。	2
土肥 興治	(新規意見) 要求に対する管理基準がおかしい。公園の剪定が増量原因というが木の剪定や落ち葉についての廃棄物は「焼却場においては燃料である」うえに、「植物は自らが固定したカーボンを排出しただけ」であり、すでにカーボンニュートラルであるのに、なぜそれをカウントするのか？	2
齋藤 葉帆		4
山本 麻衣子	廃棄物排出量が年々増えています。減らしていく事に限界があるようでしたら再利用を増やす方法を考えるしかないのかなと思います。	2

平均点 2.1

最高点 4

最低点 1

システム運用状況に対する評価
(3)資源(紙)

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也		3
奥 真美		3
斉藤 崇		3
森 美宣	主な減少要因としては、小中学校において新型コロナウイルス感染症拡大に伴うプリント配布枚数の増加が平常時に戻ったこと、国勢調査が行われなかったことであり、いずれも特例的な事象が平時に戻ったためとのことで理解できます。2021年度に学校におけるタブレット端末の配備と高速通信環境の整備が完了したことを踏まえて、今後は平時における紙資源の一層の削減に繋げていっていただきたいと考えます。	4
屋 昌宏	紙について、目標は達成しているものの、昨今デジタル社会の進捗に伴いより一層の削減目標を作成し、資源の削減に努めていただきたいと思います。	3
齋藤 之良	IT機器の導入は資源の削減に貢献が期待できるが、利用方法の標準化やデジタルコンテンツの再利用率を高めないと総合的にはエネルギー消費や資源再利用の効率が悪くなってしまふ。機器導入と同時に利用ノウハウも高める必要がある。	4
土肥 興治	(新規意見) やりたいことと管理指標があっておりますか？ 紙をやり玉に挙げて管理したい要求は何でしょうか？紙使用の原料は環境に対して何が目的なのか？現在、紙は植林から作っていることが大部分であり、新たに森林を切り開いているわけではない(そもそも本土に原生林などほとんどない)と思いますが、違いますか？(割り箸と同じですね) 加工のエネルギーであるのであれば資源ではなくエネルギー消費量に換算して管理すべきではないですか？	4
齋藤 葉帆		3
山本 麻衣子		3

平均点 3.3

最高点 4

最低点 3

システム運用状況に対する評価
 (4)グリーン購入達成率

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也		3
奥 真美		2
斉藤 崇	「非適合品購入の理由」のなかで、「意識しないで購入した」という理由が挙げられている。これは逆に言えば、「意図しないで購入した」ものが、たまたま適合品であったという場合も生じている可能性があると考えられる。もしそうであるとすると、それを「グリーン購入」として良いのかどうか。上述の内容にも関連するが、「適合品の購入比率」以外も含めて把握する必要があるのではないかと。	2
森 美宣	非適合理由の「その他」(16.2%)について、「意識しないで購入した」という理由でグリーン購入に至らなかったような記載があります。購買を担当する方の意識高揚に繋がる研修や意識調査等、属人的な要因を最小化するための取り組みに一層注力していくべきだと考えます。	2
屋 昌宏		4
斎藤 之良		3
土肥 興治	<p>・解析、PDCAと言うアエツクとアウト目いという意味で低評価としました。 最近はいきなりPlanではなくCAP-Do(キャップドゥー)だ、というのが流行りですね。(なので、PDCAとお話したときに少し???という顔をしました。)それくらい現状把握—対策立案は重要です。 現状認識をする「なぜなぜ」を4段階くらい深掘りして行う、こういうことができれば評価が高かったです(ほかの項目ではやってあるものもあつたと思います) ここで指摘したのは2件 ・価格優先…金がないから価格を優先、ではなく、そうなったときには環境課に説明し、印をもらわなければ発注できない、などの敷居を設けませんか?で、①なぜそうなったのかを分析するデータを収集する。②環境課で予備予算を抑え、そこから演出できる構造を作る、など、価格優先しなくていい構造、また、どうしようもないときには、ちゃんと許可を得て行う構造を作りましょう。 ・品質優先…品目を洗ってみてください。そして何の要求が未達だったのかを問いただしてください。そうすることで、それがどうしようもないものなら「一般には流通していないもの」として除外をする、そっちの方がいいと思ったとか、漠然と高性能だからとか、どうしようもない理由が多いようだったら決済にゲートを設けたほうがいいと思います。 と、こういうことを自ら解析できるとよかったですね。</p> <p>・16.2%のその他に「意識しないで購入した」改善の好機があるという話でしたが、これも「意識」「教育」ではなく、仕組みに落として仕組み導入を計画してほしい。 とは言ってもなかなかいい案も出ないと思うので、「出来る案」を、現場も交えて集中討議の活動を設けて半日缶詰めになって結論を出すのもよいと思う。 そういう場で決めて挙動名義で部長層に提案し、部長層に承認させることで強制力を持たせるような「ボトムアップで決断するスキーム」も作れるといいですね。民間だとそういう取り組みがあります。(もしよろしければ助言やお手伝いしますよ)</p>	2
齋藤 葉帆		4
山本 麻衣子	購入の達成率を上げるには、学校などに調達の仕組みや流れをマニュアル化してもらいたいのかなと思います。(円滑にいくようにお手伝い)	3

平均点 2.8

最高点 4

最低点 2

システム運用状況に対する評価
(5)エコオフィス活動(職員共通)

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也		4
奥 真美		4
斉藤 崇		4
森 美宣	各職場の環境推進員がエコオフィス活動を評価されていると認識しましたが、他職場での取り組みを参考にして自職場でできることを取り入れていくために、環境推進員による相互職場での評価を検討すべきだと考えます。	4
屋 昌宏		4
斎藤 之良		4
土肥 興治		3
齋藤 栞帆		4
山本 麻衣子		4

平均点 3.9

最高点 4

最低点 3

システム運用状況に対する評価
 (6)エコオフィス活動(施設担当部署)

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也		4
奥 真美		4
斉藤 崇		4
森 美宣	昼休み時の照明消灯の実施に関しては継続的な啓蒙活動が大切だと考えます。この際、消灯時に足元が見えにくくなって事故に繋がるリスクもあるため、通路の整理整頓にも注力していくべきだと考えます。	4
屋 昌宏		4
斎藤 之良		4
土肥 興治		4
齋藤 葉帆		4
山本 麻衣子		5

平均点 4.1

最高点 5

最低点 4

システム運用状況に対する評価

(7)研修の実施、環境法令の遵守、内部環境監査、情報公開

委員名	評価意見	評価点
松波 淳也	行政の立場にある町田市にとって法令遵守は絶対事項である。不適合はゼロでなければならない。速やかな改善策を取るべきである。	3
奥 真美		3
斉藤 崇	環境法令の遵守に関して、不適合件数が昨年度と同じ24件であった。「チェックシート」の導入によって、そうした状況が把握できるようになったことは良いが、不適合件数を減らすための「仕組み」が効果的なのかどうかを検討し、必要に応じて改善できるような取り組みを進めていくべきである。	2
森 美宣	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は動画配信による研修を実施した結果、コロナ禍であるにもかかわらず一定の研修出席率を保てたのではないかと評価します。今後もコロナ禍においても参加しやすい研修の実施やアンケート結果を踏まえて、研修方法等について改善していく必要があると考えます。 ・行政として環境法令を自ら遵守することは必須だと考えます。未是正となっている保管基準の不備(保管場所の囲いが無い、掲示板の未設置等)に関しては、基礎的な内容であり、場合によっては保管場所の移転も含めて躊躇なく改善を図るべきだと考えます。 	3
屋 昌宏		3
斎藤 之良		3
土肥 興治	<p>(違法状態の指摘2件に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロン排出:廃棄時の処理や定期検査を構造的にフォローできるよう、仕組みに落としください。 資産管理をしている課と協力し、該当資産の管理責任者に対し、自動的にフォローできる電子システムまたは構造を作成してください。全員が全員同じ結果を出すのが目的の取り組みならば、運用でカバーする、人の意識(努力や根性)に頼るのではなく、1万回同じことをやってもだれもミスしない構造にすることが大切です。 ・設備や建物の影響で対応が困難なものについて、対応計画とそのフォロー指針を答えられれば、改善が進んでいるとポジティブにとらえられて良いと思います。去年と一緒に、では何もしなかったとネガティブにとらえられます。無理なもので何回も指摘されるのは嫌だと思しますので、それなりの言い訳があるものについては今後どうするか、をセットで振り返りしましょう。 	3
齋藤 菜帆		4
山本 麻衣子		2

平均点 2.9

最高点 4

最低点 2